

# ウイルス性出血熱

# 世界の現状と我が国の臨床的対応を考える

感染症法の施行以来、炭疽、SARSのアウトブレイク、パンデミックインフルエンザなどが発生し、未曾有の感染症時代を迎えていると言えます。交通のグローバル化により我が国で発生が想定される国際感染症として、一類感染症に指定されるウイルス性出血熱があげられます。我が国では1987年のラッサ熱症例から報告はありませんが、欧米では毎年のように輸入例が報告されています。今回の公開セミナーでは、このウイルス性出血熱をとりあげ、皆様に世界と我が国の状況を知っていただき、我が国での臨床的な対応を考える契機としたいと思います。是非とも多くの方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

医療関係者向け公開セミナー

平成24年 **3/10** 土 17:00-19:30

会場：全国障害者総合福祉センター  
戸山サンライズ 大研修室

- 参加費無料 ●事前申込み不要
- ICD制度協議会 2 単位

## プログラム

●司会 / 加藤 康幸 (国立国際医療研究センター 国際疾病センター 国際医療支援室医長)

### 1 新興ウイルス感染症の現況と国際的検査診断ネットワーク

西條 政幸 (国立感染症研究所 ウイルス第一部 部長)

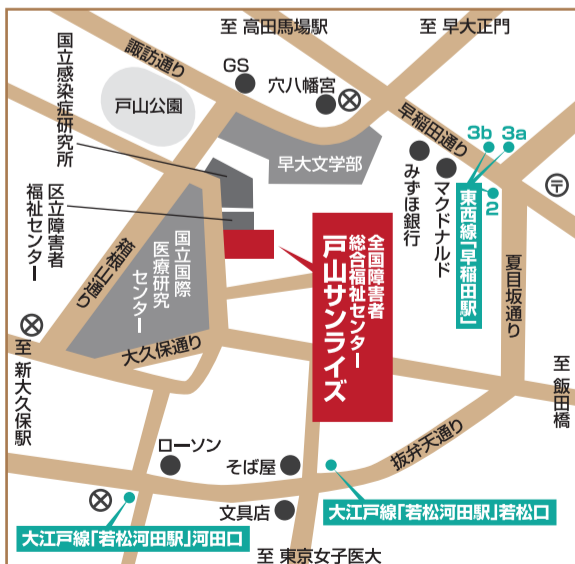
### 2 感染研におけるウイルス性出血熱患者発生に備えた検査診断対応

森川 茂 (国立感染症研究所 ウイルス第一部 第一室長)

### 3 Dangerous Infections: Risk Management and Clinical Care

Barbara Bannister

(Consultant in Infectious Diseases, Royal Free Hospital, London, UK)



## 会場案内図

全国障害者総合福祉センター 戸山サンライズ 大研修室  
〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1

### 【アクセス】

- 東京メトロ東西線「早稲田」駅 / 「2番出口」徒歩7分
- 都営地下鉄大江戸線「若松河田」駅 / 「河田口出口」徒歩7分

## お問合せ先

独立行政法人 国立国際医療研究センター 国際疾病センター 国際医療支援室 (山崎・加藤)

〒162-8655 新宿区戸山1-21-1

TEL: 03(3202)7181 (代表) FAX: 03(3207)1038 E-mail: info-dcc@hosp.ncgm.go.jp

主催 ● 我が国における一類感染症の患者発生時に備えた診断・治療・予防等の臨床的対応及び積極的疫学調査に関する研究 (代表研究者: 加藤康幸)

共催 ● バイオテロに使用される可能性のある病原体等の新規検出法と標準化に関する研究 (代表研究者: 倉根一郎)

● 現在、国内で分離・同定できないウイルス性出血熱等の診断等の対応方法に関する研究 (代表研究者: 森川茂)